

令和4年度における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

譲与額（円）	活用額（円）	基金積立（円）	令和4年度の活用率
4,964,000	3,619,880	1,344,120	72%

■令和4年度具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	近畿自然歩道等 危険木伐採工事	797,500	797,500	岬町森林整備方針において「防災・減災機能強化候補エリア」として森林周辺に設定している登山道を安全に利用できるよう危険木等の伐採工事（防災・減災機能強化）を行い、利用者の森林に対する理解の醸成を図ります。
	森林整備調査業務	477,180	477,180	維持管理が困難な人工林の間伐工事を実施するため、森林の現況調査を行い整備が必要な区域の選別を行う。
	森林間伐工事	1,272,700	1,272,700	森林整備調査で選別された区域において、山地災害などを未然に防ぐため、間伐工事を実施した。
木材利用	日本遺産葛城修験 観光案内看板整備工事	1,072,500	1,072,500	日本遺産葛城修験構成文化財を広く広報し、来訪者の利便性の向上を図るため、大阪府産木材を使用し、観光案内看板の設置を行う。
	基金積立	1,344,120	1,344,120	
	合計	4,964,000	4,964,000	